

平成30年度 城下小学校グランドデザイン

学校目標

まなび きたえ ともにのびる子

めざす児童の姿

友の話聞き、自分の考えを伝え合い 学びを深めようとする子 (まなび)
心と体の健康を考え、進んできたえようとする子 (きたえ)
互いに支え合い、思いやりの心を 育もうとする子 (ともにのびる子)

30年度の重点

「指導の基盤になる集団の育成」
授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり
お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり
ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり

全校研究テーマ

「自分の考えを持ち、主体的に学び合うことのできる児童の育成」

学力向上への取り組み

- 授業のユニバーサルデザイン化(わかる授業の実践)の推進
 - ・学習問題、課題(学び方)の提示
 - ・子どもの思考を促す明確な発問とわかりやすい板書
 - ・思考・表現(話す 聞く 書く)のモデルの提示
 - ・個の追究場面と少人数から全体への学び合いの時間の確保
 - ・学習ルールの継続的な指導
- まなびの素地の育成
 - ・ドリルの時間
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・読書の充実
- ※英語の実施に伴う時数確保のための日課の変更と行事の精選
- ※学力調査の全国比を29年度より上げる。
- ※学級作り・ユニバーサルデザイン化の進行度の向上

心と体をきたえる

- 心をきたえる
 - ・めあてをもった生活づくり
 - ・清掃指導(無言清掃)の充実
- 体をきたえる
 - ・計画的な運動活動の取り組み
 - ・マラソン、縄跳びの励行
 - ・家庭と連携した基本的生活習慣の指導
- 安心安全な学校
 - ・登下校の安全な通学指導
 - ・落ち着いた生活習慣づくりによるケガの少ない学校
 - ・生活指導重点の決め出しと全校での取り組み

豊かな心の育成

- 好ましい人間関係づくり
 - ・相互の価値観、感情の交流のある道徳教育の実践
 - ・日常生活(朝の会 帰りの会 授業中)の「個々のよい面を引き出す」取り組みの継続
 - ・明るいあいさつの習慣化
 - ・なかよし学級の交流
- 安心して過ごせる学校・学級集団づくり
 - ・Q-U検査の実施と結果に基づいた集団づくり
 - ・互いの違いを認め受け入れる人権教育の実践
 - ・心のアンケート、相談週間の実施
- 保護者との連携
 - ・即時性のあることについてはその日のうちの情報共有
 - ・学校便り、学年便りや学級便りでの情報の発信

地域の風が吹き抜ける学校

- ◆城下小コミュニティスクールの推進
地域の方々のお力をお借りして「学校ボランティア」の組織とのつながり
- ◆保護者との連携・PTA活動との連携

職員の構え

- ◇個への気配りを忘れない支援の継続
- ◇学校全体で児童をみていく支援体制の構築
 - ・支援の必要な児童・気づきにくい児童の洗い出しと体制づくり
- ◇ともに学び合う研修会
 - ・教科指導・集団づくり・個別の指導
 - ・特別支援教育